

エリア ウェブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2737
 FAX 0553-20-2733

◎ 回覧・配布をお願いします。増し刷り配布はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ ご意見・ご感想はこちらまで Email : saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

『子どもの育ち ころとからだ』

8月19日、峡東地区「保・幼・小・中連携セミナー」が、山梨市民会館で開催されました。第1部では、山梨県総合教育センター教育相談部(臨床心理士)の一瀬英史(いちのせひでい)先生による「子どもの育ち ころとからだ」の講演がありました。

..... 一瀬先生のお話の要約を掲載します

「個性の重視や個人主義」など、現代の社会の中で進んできている現象には、必ず「光と影(功罪)」があると思います。一方の側面から見ると大変良いことであっても、もう一方の側面から見ると憂いを感じる側面もあります。今の日本の教育の状況を見ると、様々なところで、多くの人が協力しないと上手にいかない＝「連携と協力」が必要なんだと思います。同時に学校や家庭、地域などが、主体性を保ちつつ「それぞれが、それぞれの役割をたしかに果たせるようにする」ことが大切であると思います。人は、さまざまな出来事に遭遇してストレスを感じますが、自分の役割が果たせられなくなった時のストレスの影響は大きい。つまり、主体性を奪われることがストレスに繋がるのです。

主体性とは何だろう、「今、私がここに生きている確かな感じ」ではないでしょうか。幼児期の子どもの主体性や自立の育成のためには「甘え」が大切であると思います。「内なる安心できる世界」＝甘えられる環境(家庭)を保障しておくことで、「外なる世界」＝甘えられない環境・主体性を奪われる環境の中で失敗しても、「内なる世界」でエネルギーを充電し再挑戦できるようになるんだと思います。子どもにとって失敗することは大切です。

科学技術の進歩により人間の生活は便利(功)になると同時に、ころとからだの働きの機能を低下(罪)させてしまいました。つまり、「ころとからだを、あまり使わなくても済む社会」から「からだ動かさない・硬くなる・固まる」私がからだをコントロール(主体性)できない状況」になってしまいます。子ども達が「外なる世界」へ行く時、ころとからだを緊張させて身構えます。そして程よい緊張にほぐしながら対処していくのですが、からだ硬くその緊張を上手にほぐせず、対処できなくなる。自分自身をコントロールできなくなってしまう。様々な体験を通して「ころとからだ」を働かし、「いい加減(ちょうど良い)」に自己をコントロールすることが大切と感じます。力を抜くことの大切さとして、からだを整えることでころも整える心理療法のひとつ『臨床動作法』を用いたストレスマネジメント教育が有効かもしれません。

最後に、昔の子ども達の近くには、お年寄り・夜の暗さ・昔話等があって、「死」につながるものが存在し、「鬱(うつ)」を味わう機会が多かった。鬱を味わうことができないと鬱病になると学びました。現代の子ども達が、「鬱(怖さ・寂しさなど)」の味わいを体験することも大切なのではないのでしょうか。と、締めくくった。

最後に、昔の子ども達の近くには、お年寄り・夜の暗さ・昔話等があって、「死」につながるものが存在し、「鬱(うつ)」を味わう機会が多かった。鬱を味わうことができないと鬱病になると学びました。現代の子ども達が、「鬱(怖さ・寂しさなど)」の味わいを体験することも大切なのではないのでしょうか。と、締めくくった。

第2部では、地域で分けた小グループで『現状をふまえた連携活動の課題とその対応』を討議の柱に、「保・幼・小の連携」、「小・中の連携」について、活発な話し合いが行われました。峡東地域外の韮崎・甲府・都留市の保育園の先生方も参加し、「峡東地域は、連携活動が進んでいる」とのアンケートがありました。



<講演の様子>



<グループでの話し合い>

「ボランティアチャレンジ2008」つどいの広場「たち」交流会

山梨市社会福祉協議会の主催する「ボランティアチャレンジ2008」のひとつ、つどいの広場「たち」交流会を2日間取材しました。8月8日（金）交流会の1日目として、山梨市保健センターを会場にして、市内の中学生43名が参加し、命の誕生のビデオを視聴した後、命の大切さについて保健師さんの話を聞き、最後に人形を使って赤ちゃん抱っこ体験をしました。



保健師さんのお話では、命の誕生から乳児期についての話だけでなく、命の大切さに気づき、自分や他者の命も同等に大切にする共生の心を育むことの大切さを学びました。赤ちゃん抱っこ体験では、きょうは事前学習ということで赤ちゃん人形を用いました。数人ずつのグループに一人ずつ指導者がつき、赤ちゃんと接するときの心構え・服装等の説明を受け、順々に抱っこ体験をし次回の実体験の練習をしました。2日目は、夏休み中に「たち山梨」または「たち牧丘」で、赤ちゃん抱っこの実体験をすることになっています。

「ボランティアチャレンジ2008」は年間をとおして行われ、夏休み中には特別に小・中・高生を対象に、つどいの広場「たち」交流会の他、介護ボランティア体験・ワーク交流・手話&ステップ・高齢者疑似体験・レク交流が行われ、山梨市内の生徒が多数参加しています。

2日目は8月15日（金）に、つどいの広場「たち」を訪問し、赤ちゃん抱っこの実体験取材しました。山梨北中学校の2年生5人の女生徒が参加しました。お母さん7人と乳幼児9名が利用していました。赤ちゃんだっこも経験があるようで、「上手に抱っこできるね」と誉められていました。その他、ボール遊び・ママゴトごっこ・積み木遊び・絵本の読み聞かせ等、乳幼児も中学生のおねえちゃんと遊べるのがうれしく、興奮しているようでした。今日15日はお盆のため利用者が少なく、多い日は40人ほどの利用者があるそうです。



山梨市役所少子対策課子育て推進担当の方の説明によると、山梨市では子育て支援センターとして、つどいの広場「たち」「たち牧丘」・児童センター・市立保育園を、子育て相談・悩み相談・遊びスペースとして開放しているそうです。きょう訪問した、つどいの広場「たち」は主に乳幼児（0～3才）をもつ親とのお子さんが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で話をしたり、一緒に遊んだりしながら、交流を図るための場所です。経験豊富な子育てアドバイザーが、育児の悩み・不安などについても相談にのってくれます。

問い合わせは山梨市役所少子対策課子育て推進担当 ☎ 0553-22-1111まで。

総合型地域スポーツクラブ『甲州スポーツ倶楽部』の紹介

□代表者 中村 実 連絡先 TEL:090-8945-7748 Email:kosyu_sports_club@yahoo.co.jp

□活動日・場所 水曜日:松里小体育館、金曜日:甲州市ふれあい館、土曜日:塩山体育館
時間は、いずれも午後6:30~8:00

□クラブの紹介 甲州スポーツ倶楽部は、甲州市の旧塩山市を活動地域として、子どもの安全・少子化対策をスポーツ・野外・文化活動を通して、多世代の交流で育み、防犯・防災に強い安全安心な地域づくりを行います。現在は、幼児から一般までみんなが楽しめる4種目（ラグビー・スポーツチャンバラ・ティーボール・フットサル）を実施しています。みんな歓声を上げながら笑顔で活動をしています。



子ども達は、走る・投げる・跳ぶ・蹴る等基礎的な運動を身に付け、一般成人男女は、運動不足の解消・ストレスの発散・ダイエット・メタボ対策など、みんな自分のペースに合わせ運動を行っています。中でもスポーツチャンバラは、山梨県内でも当クラブでしか指導していないので、目玉種目になっています。また、当クラブは、家族みんなで参加運動する事が基本ですので保護者会はありません。子供たちは自主的に活動を行います。運動が苦手な子供も楽しく元気よく参加しています。

「地域への感謝」と「奉仕の精神」を ～山梨高等学校 “全校一斉奉仕作業” ～

8月26日（火）の午後、山梨高校の一斉奉仕作業が行われました。以前は万力公園への活動でしたが、20年ほど前に、ろう学校の体育館等を使用させていただいたお礼にと、清掃や除草作業をしたことがきっかけで、さらに広まった活動です。本年度も万力公園やろう学校をはじめ、水の宮児童公園や石森山つつじ公園、市民体育館や笛吹川河川敷といった学校周辺の活動場所を生徒・職員が分担しました。



晴天に心地よい風の吹くなか、たわわに実った桃を横目にそれぞれの作業場所へ移動し、長く伸びた雑草を刈り込んだり、側溝へ降りて空き缶を拾ったりしました。いつの間にか山梨市よりいただいたゴミ袋もいっぱいになり、皆疲れも感じながら誇らしげな、清々しい気持ちになって帰ってきました。一緒に作業をしてくださる方もいらっしや、地域に感謝し、奉仕の精神を養う行事としてすっかり定着したといえそうです。

「ものづくり」と「ホスピタリティ」

～山梨県立産業技術短期大学校～ 学校紹介（第三回）

前月号の「山梨県立産業技術短期大学校」観光ビジネス科に続き「ものづくり」学科を紹介します。

■「ものづくり」実践技術者を目標して～生産技術科・電子技術科・情報技術科

日々、進展するものづくり産業の技術革新。「山梨県立産業技術短期大学校」は、これからの技術革新に対応できるよう、常に創意工夫しチャレンジし続ける創造性あふれる人材を育成しています。



「自動システム化実習」

各種機械をコンピュータ制御

○生産技術科

生産技術とは形あるものを造る技術。主に機械システムについて学びます。これからの「ものづくり」に欠くことのできない「CAD/CAMシステム」「精密加工」「F/A生産システム」を3本柱に、ものづくり全体を見渡せる実践技術者を目指します。



「CAD/CAM実習」

3次元CADを用いた設計



「ロボコンやまなしに挑戦」

2007年度は優勝でした

○電子技術科

電子工学はパソコンから携帯電話、自動車、家庭電化製品まで、今や生活に不可欠となっています。電子技術科ではこうした電子工学（エレクトロニクス）を基礎からわかりやすく学びます。また卒業研究ではロボコンやまなしやソーラーカーコンテストに挑戦しています。



「マイコン実習装置」

マイコンで、音を鳴らしたりLEDを光らせたり



「ゲームソフト開発実習」

ゲーム作成を通じて学習

○情報技術科

インターネット、ワープロ、表計算、ビジネスの世界から家庭までコンピュータのソフトウェアは普及しています。情報技術科ではコンピュータの基本的技術から、プログラミング言語や実践的テクニック、ソフトウェアの設計、ネットワークに関する技術を学びます。



「実習風景」

一人に1台以上のPC

■実験・実習の多い授業

高校で専門的な授業を受けてなくても、わかりやすく、楽しく技術や技能が学べます。

■ 産短大へのお問い合わせ 山梨県立産業技術短期大学校 教務学生課

住所 甲州市塩山上於曾1308 (JR塩山駅北口から徒歩7分)

電話 0553(32)5201 ◆10/3(金)まで 推薦入学検定 応募者募集中です◆

収穫の秋便り

学びの創造

山梨県代表として
関東大会に参加
プロジェクト発表
優秀賞を頂きました！

- 区分 食料
「ワイン酒まんじゅうの製造
〜カニコと膨らみについて」
食品化学科ワイン研究班3名
- 区分 環境
「絶滅危惧植物
カサネツツの選抜育種Ⅱ」
植物研究部5名



関東地区学校農業クラブ連盟東京大会
(8/23・24 府中の森芸術劇場)

意見発表こちらも優秀賞！

- 区分 食料
「誰でも笑顔溢れる料理」
食品化学科1年
平岡千穂さん(御坂中出身)
- 区分 環境
「未来のために」
食品化学科2年
小田切瑞穂さん(浅川中出身)
- 区分 文化・生活
「私のすずむべく道」
園芸科3年
古屋 恵さん(一宮中出身)



「農業クラブ」ってなに？

農業を学ぶ高校生がクラブ員となる全国組織です。「日本学校農業クラブ連盟」略して『FFJ』です。目標に①科学性②指導性③社会性を掲げ9万2千人のクラブ員がいます。アメリカの『FFA』や韓国の『FFK』とも交流しています。実は私、全国の常任理事をしています。年に数回東京オリンピック記念青少年センターでの会議に出席します。めちゃ忙しいですが全国に友達ができて充実しています。また、農業クラブの機関紙『リーダーシップ』は私たちの取り組みが掲載され楽しいですよ！ 園芸科3年 古屋 恵さん(一宮中出身)

自己指導能力の醸成



●「皆勤100%を目指すクラス」の記事
(山日ときめきゾーン高校生)読みました…！

2年生になってから誰一人として休んでいません。26人が3カ年皆勤の候補です。2年次に続いて今年もクラス全員が皆勤目指しています！すごいでしょ♪楽しくてとても面倒見のいい坂本先生担任です。写真は最後の文化祭「ヨサコイソーラン」V2達成記念です。

山日新聞でよく園芸の記事をみかけますね。

サッカー部農業土木科3年小池信伍さん(御坂中出身)の『Dear清水先生〜あきらめない心教わった(9/4)』が「僕らのありがとう」に載りました。大きな声で部員を励ます先生が毎日グラウンドにいらっっしゃいます。僕たちサッカー部を見に来ませんか。

園芸といえば、すいれき太鼓部『園芸生、韓国の女子高校生と仲良くなっちゃった！！(7/17)』もありました。今(9/23~30)韓国へ遠征しています。一週間の予定で忠清北道山南高校を訪問し、太鼓を通じて国際交流に貢献します。部員はホームステイをして友情を深めます。27・28日には『日韓交流おまつり 2008 in Seoul』にて公演します。詳しくは「山日新聞 ホームページときめきゾーン高校生」をご覧ください。



学校と家庭、地域との協働

『ウエルカム笛吹』のプロジェクト活動

石和温泉駅を利用される方を花でお迎えしようと駅周辺や市役所、金川の森交通公園などの飾花活動に取り組んでいます。農業高校として地域に貢献できることに頑張っています。



第48回青雲祭『ふれあい農産物市』

平成20年11月8日11:10販売開始です！